



# 聖学院大学

報道機関各位

2023年2月14日

埼玉県上尾市戸崎 1-1 聖学院大学

## 震災 10 年を超えて「3.11 に学び未来をひらく」

～東北の若者×聖学院生協働による新たな挑戦～

東日本大震災から 12 年、聖学院大学（埼玉県上尾市／学長：清水正之）は、震災直後から継続的に復興支援活動を行ってきました。コロナ禍でいったんは途切れていた活動（東北ボランティアスタディツアー）を 3 年ぶりに開催させていただきます。

### 1) 3年ぶりのバスツアー再開と新たな挑戦

震災直後から続いてきた本活動は、コロナ禍で中断を余儀なくされていました。この間、オンラインを活用して現地との交流や学修を行ってきましたが、3 年ぶりに対面で現地を訪れることができるようになりました。被災経験のある東北の若者との交流を通して、新しい試みに挑戦していきます。

### 2) 只野哲也さん(大川小出身)をはじめ東北の若者と学生がゼロから一緒に企画

協働する「Team 大川-未来を拓くネットワーク-(通称:チーム大川)」は、東日本大震災の津波で児童 74 名、教職員 10 名が犠牲となった石巻市立旧大川小学校の出身者で立ち上げた団体です。詳細は下記 URL 参照。<https://www.youtube.com/watch?v=9HSr4wZAGrk>

「未来をひらく」は大川小学校の校歌のタイトルです。現在「未来のいのちを救う防災の普及」や「大川小を拠点にしたコミュニティの再生」を目指し活動を展開しています。聖学院大学とは 2019 年から関係が続いており、今回のツアーも学生リーダーとチーム大川が連携して開催しています。

### 3) 私たちが3.11そして大川小学校から学ぶこと

今回のツアーでは、震災遺構となった大川小学校に訪問し、震災当時小学 5 年生で津波にのまれながらも生還した、只野哲也さんや大川小卒業生に話をうかがいます。「二度と戻らない命」「救えたかもしれない命」に向き合いながら、「今ある命の大切さ」や「次の命をどう守っていくか」について、思いを巡らせていきます。

### 4) 震災から学び2つの「未来をひらく」

大川小訪問後、東北の若者(チーム大川)と学生と一緒に「未来の命を守るために必要なこと」や、「大川小学校のこれからと自分たちの関り」について考えます。具体的に、来年度の合同活動に向けてアクションプランを立て、実践をしていく予定です。

参加者は、大学生 17 名、教職員 8 名、Team 大川 7 名の計 32 名を予定しています。

## ◆東北ボランティアスタディツアー【概要】

- 2月18日（土）14:00 石巻市震災遺構門脇小学校等見学  
2月19日（日） 9:30 震災遺構大川小学校にて、只野哲也さんや大川小学校卒業生によるガイド  
14:00 チーム大川と次年度の合同プロジェクトについての作戦会議  
17:30 振り返り  
2月20日（月） 9:00 女川・石巻の魅力発見（観光）

### 【東北ボランティアスタディツアーの問い合わせ先】

聖学院大学ボランティア活動支援センター 048-780-1705 担当：川田・原



学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入、SDGsを目指した活動を行っています。



※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入、SDGsを目指した活動を行っています。

### 【本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み先】

聖学院大学 入試・広報課 担当：松崎、平田

Tel.048-780-1707 FAX.048-725-6891 E-mail:pr@seigakuin-univ.ac.jp <https://www.seigakuin.jp>

【住所】埼玉県上尾市戸崎 1-1

【学長】清水 正之（しみず まさゆき）

【設立】1988年設立

【学部・学科】政治経済学部（政治経済学科）、人文学部（欧米文化学科／日本文化学科／児童学科）、心理福祉学部（心理福祉学科）の3学部5学科を設置

\*2023年4月より「児童学科」は「子ども教育学科」に名称変更予定。

【学生数】2,294名（2022年5月1日付）

【ホームページ】<https://www.seigakuin.jp/>